

# 相互理解

みなさんは、「自分の気持ちをわかってもらえない」と思ったことはありますか。私が中学生の頃は、毎日のようにそう感じていました。自分の意見や考えばかりを優先していた上に、伝えることが苦手だったため、人とぶつかることもありました。相手の話を聞けないこともよくありました。振り返ると、その頃の私は周りをしっかり見ることができていなかったように思います。もちろん、ぶつかることが必ずしも悪いことだとは考えていません。ぶつかり合うことでしか気付けないことも多くあり、その度に失敗しながら学ぶことができるからです。相手には相手なりの思いや考えがあり、自分の歩んできた道や経験だけで判断してしまうと、どうしても周囲の行動や気持ちが理解できないこともあります。私はうまくいかないときや本当にしんどいときにこそ、近くにいてくれた人たちや声をかけ続けてくれた人たちのおかげで、人の思いや気持ちに寄り添うことの大切さを学び、人の生き方にふれることの素晴らしさを得ることができました。大人になった今でも関わりを持ち続けられ、本当に大切にすべきことに気付かせてもらえた気がします。みなさんもこれから、たくさんの人に出会います。嬉しいことやたのしいこともあれば、ときには嫌なこと、どうしようもなくしんどいことや踏ん張らないといけない場面、乗り越えないといけない壁にぶつかることもあると思います。そんなときにこそ、いちばん近くにいてくれる人たちを大切にしてほしいです。きっと心強いと思います。ひとりでも本心を分かり合える人がいれば十分だと、私は思います。そして、みなさんも誰かにとっての支えの存在となっているかもしれませぬ。人は誰もがそれぞれの思いや悩みを抱えながら生活しています。まずは、となりにいる仲間を大切に、人の気持ちに寄り添う行動や言動を心がけてみませんか。出会いで人は変わります。その思いある行動や言動を見てくれている人は必ずいます。

年 組 番 名前